尾張旭市立城山小学校 学校だより 第1号 令和8年4月9日発行

風と緑と太陽

「今日の発見は何だろう？」「どんなことをやってみた？」

校長 野 田 恵 美

今年の入学式や始業式は、春の日差しがぽかぽかと子供たちを迎え、満開の花壇の花が入学や進学をお祝いしているかのようでした。76名の新入生を迎えて、全校児童575名で令和8年度のスタートを切りました。

本日、子供たちは、新しい先生やクラスメイトと出会いました。新しい教科書やノートを開くと、ピカピカのページに心が踊り、やる気が満ちてきます。人は新しい物や人に出会うと、いくつかの新発見ができます。

始業式では、子供たちに「昨年の発見名人になることに加え、自分で考えて行動できる人になってください」と話しました。「発見太君」に続く新たなキャラクター、考えることの得意な「シン・キング」や多くの「ハテナ（問い）」を見つける「ハテナール」も登場しました。子供たちは、活動の中で見つけた「問い」を解決するために、いろいろと考えます。解決するために他の人の意見を聞き、話し合い、考えをすりあわせることで、新たな解決方法を見つけます。集団の中で関わり合いながら共に学んでいるのです。

発見太君　シン・キング　ハテナール

明るく元気な城山の子供たちが、１日のおわりに「今日は何を発見したかな」「今日はこんなことができたな」と振りかえることができる授業づくり・学級づくりを、教職員が「明日は子供たちに何を学んでもらおうかな」と楽しみになる学校づくりを目指していきます。ご家庭でも、どんな発見があったか、今日はどんなことをやってみたのかを話題にしていただけると幸いです。

職員一同、子供たちの成長のために、尽力いたしますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力、ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■ 「町・自然・人」 自ら考え、行動できる 城山っ子の育成 ■

昨年に引き続き、地域の方たちとの出会いやふれあい、地域での体験を通して、地域を大切に思う心を育むよう、取組を行って参ります。一歩踏み込んだ深い学びにするため、「地域の行事」に関わる内容を３年生～6 年生の「総合的な学習の時間」の指導計画の中に位置づけました。１・２年生の生活科の学習の中でも、校外学習として、みんなで城山公園に行ったり、スカイパークやスカイワードに行ったりして、校区のよいところや自然、施設について学びます。3 年生以上は、様々な地域の活動に参加することからはじめ、運営に携わる方々に着目したり、地域の方の工夫を学んだり、自分たちで提案をしたりする計画です。

高学年では、自分が地域の一員として、今後何ができるかなどを考えていきます。

地域行事に積極的に参加し、学ぶ子供たちの姿を見ると頼もしく思います。

今年度もさらに城山の「町・自然・人」を子供たちと一緒に考え、語り、活動を支えていただきますよう、お願いいたします。